

東京農工大学大学院工学研究院応用化学部門
准教授または講師 教員公募要項【女性限定公募】

【公募概要】

東京農工大学学長リーダーシップによるダイバーシティとインクルージョン実現の一環である「女性教員の計画的増員」方針に基づき、大学院工学研究院応用化学部門では、下記の通り、「女性教員キャリアデザイン制度」による任期の定めのない准教授または講師1名を公募いたします。なお、今回は女性限定公募といたします。

採用された教員は、本学の大学院工学研究院に所属し、独立した研究室を運営できます。また、研究室の立ち上げに必要なスタートアップ資金配分、研究環境構築支援、メンターの配置を受けられます。さらに、女性未来育成機構による各種学内支援制度を活用することにより、ライフイベント中の支援を受けることができます。工学部応用化学科および大学院工学府応用化学専攻の兼務となり、専門分野についての講義をおこない、学部・大学院生の研究を指導することが期待されます。

研究・教育を推進する経験を重ねた採用後5年目に、上位職選考（准教授採用の場合は教授、講師採用の場合は准教授）を実施します。なお、不適格となった場合、6年目または7年目に再選考を受ける必要があります（ライフイベントにより研究を中断した場合は、上位職選考および再選考の時期を延期できます）。

【職種および人員】

准教授または講師 1名

【雇用形態】

常勤（任期の定めなし）

【専門分野】

無機化学・物理化学・有機化学・高分子科学・計算化学・マテリアルサイエンス関連分野。応用化学科・専攻の研究・教育における重点対象であるエネルギー、環境、新素材など地球規模の課題に対して取り組む将来展望を持ち、当該分野の先導的研究者となる意欲がある方を歓迎します。

【職務内容】

専門に合わせ、応用化学科・専攻において独創的研究活動、教育活動、および大学運営業務に従事します。

<研究>独創的研究活動を実施します。

<教育>① 応用化学科における日本語開講の講義・実験（化学・物理系の専門基礎科目や専門科目）および応用化学専攻における講義科目等を担当します。なお、無機化学・物理化学・高分子科学・物理系科目のいずれかの講義を担当いただく予定です。また、英語による講義をおこなう場合もあります。② 学部・大学院生への研究指導をおこないます。

<運営>大学・学科・専攻の管理運営に関わる業務をおこないます。

【応募資格】

着任時に博士の学位を有し、原則として3年以上の研究機関等における勤務経験を有する女性研究者

【給与・待遇】

- ・ 2号年俸制、以下はモデル給与（諸手当を除く）

採用職位：准教授

月額基本給510,000円程度（博士課程修了後12年程度の経験年数を有する者の金額、学歴・経験年数による、地域手当を含む額）

業績給（ボーナス）を含めたおおよその年俸額は800万円程度

採用職位：講師

月額基本給430,000円程度（博士課程修了後4年程度の経験年数を有する者の金額、学歴・経験年数による、地域手当を含む額）

業績給（ボーナス）を含めたおおよその年俸額は700万円程度

- ・ 諸手当：通勤手当，住居手当，扶養手当（全て、本学で定める支給要件を満たした場合）
- ・ 勤務形態：裁量労働制（7時間45分/日）
- ・ 休日：土曜日，日曜日，祝祭日，5月31日及び12月29日から1月3日
- ・ 休暇：年次休暇，特別休暇，病気休暇
- ・ 加入保険：労災保険，雇用保険，共済組合，厚生年金保険
- ・ ライフイベント支援：ライフイベントによる休職等の期間は，女性未来育成機構による各種学内支援制度（<https://web.tuat.ac.jp/~dan-jo/josei/support.html>）を利用可能です。また，女性未来育成機構による助言・サポートが受けることができます。
- ・ 独立した研究室を運営します。スタートアップ資金（3年間で合計300万円）が措置されます。
- ・ 採用後3年目に，進捗状況を確認する中間報告をおこないます。その後，採用後5年目に，採用部局で定める選考基準を基に適格と判断されれば，採用後6年目に准教授採用であれば教授，講師採用であれば准教授に昇格できます。なお，不適格となった場合も6年目又は7年目に再選考があります（ライフイベントによる休職等の場合，上位職選考及び再選考の時期を延期可能）。上位職の適格基準は，採用後6か月以内に採用部局設置の上位職選考委員会より通知されます。上位職選考及び再選考の結果不適格だった場合も，採用時の職位は保証されます。

【所属機関，勤務地】

所属：東京農工大学大学院工学研究院

（兼務：女性未来育成機構，大学院工学府応用化学専攻，工学部応用化学科）

機関名：東京農工大学

機関種別：国立大学法人

所在地：〒183-8538 東京都府中市晴見町3-8-1

勤務地：〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16 小金井キャンパス

【着任時期】

2026年10月1日以降，できるだけ早い時期

【応募方法，応募書類】

下記の応募書類一式を一つのPDFファイルにして，以下の問い合わせ先に電子メールで提出してください（最大ファイル容量20MB）。その際，電子メールの件名に「応用化学部門女性教員応募（応募者氏名）」と記載してください。応募書類を送信いただいた後，数日以内に受領確認のメールを送付します。

応募に係る個人情報は、個人情報保護法及び本学規定に基づいて適切な取扱いをいたします。応募の事実是非公開としますが、選考上必要な範囲において照会等をおこなうことがあります。なお、応募書類は返却しません。また、選考結果の報告は原則として電子メールによりおこないます。

<応募書類>

- ① 履歴書（下記の本学様式をダウンロードして使用すること）
掲載URL：<https://www.tuat.ac.jp/outline/kyousyoku/kyouin/rirekisho.html>
- ② 業績目録：(a) 原著論文，(b) 著書・総説（以上は、応募者の名前にアンダーラインを付し、責任著者に＊を付すこと。別刷りを提出したものには○印，国際共著論文には◎），(c) 基調・招待・依頼講演，(d) 特許，(e) 受賞歴，(f) 研究費獲得状況，(g) 教育実績，(h) 特記事項，などに分類して年代順に並べること
- ③ 主要論文別刷（5編以内。必ず1編は添付してください）
- ④ これまでの研究成果の概要（図を含めA4用紙2頁以内）
- ⑤ 本学における研究計画の概要（図を含めA4用紙2頁以内）
- ⑥ 教育に関する抱負（A4用紙1頁以内）
- ⑦ 本人に関する所見を求め得る人物2名の氏名・所属・連絡先（電話番号，電子メールアドレスを含むこと）

【応募締切】

2026年6月1日（月）必着

【選考方法】

書類選考ならびに面接をおこないます。面接の日時や準備いただくものなどは、対象者に電子メールで連絡します。面接にかかる交通費・滞在費は応募者負担となります。

【問い合わせ先・書類提出先】

東京農工大学大学院工学研究院応用化学部門 教授 下村 武史

電子メール：simo@cc.tuat.ac.jp

電話：042-388-7051

学科webページ：<https://www.tuat.ac.jp/department/engineering/applchem/>

【その他】

- この取り組みは「雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律」（昭和47年法律第113号）第8条の規定に基づき実施しています。
- 東京農工大学は、男女共同参画を積極的に推進しています。
東京農工大学男女共同参画推進室HP（http://web.tuat.ac.jp/~dan-jo/danjo_new/index.html）
- 東京農工大学女性未来育成機構 HP（<https://web.tuat.ac.jp/~dan-jo/josei/>）
- 東京農工大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、職員の採用に際し安全保障上の確認をおこなっており、確認に必要な情報の提供をお願いしています。審査の結果、規制事項に該当する場合は、希望する教育研究の変更を求める場合があります。また、経済産業省へ許可申請をした結果、不許可の通知があった場合は内定を取り消すことがあります。